



図書室だより



館林市立第一小学校
2020年7月号



もうすぐ梅雨も明けて、^{たの}楽しい^{なつやす}夏休みがやってきます。
今年の夏休みは、いつもと違って家にいる時間が長くなると思います。
たくさんの本を読めるチャンスです。どうか思い出に残る本とめぐりあいますように。

なつやすみに読む本のかしだし ひとい5さつまで

7月27日(月)	7月28日(火)	7月29日(水)	7月30日(木)
3年生	2年生	1, 5, 6年生	4年生

(なつやすみの本のかしだしはありません)

第66回青少年読書感想文全国コンクール・課題図書

学年	本のなまえ	本を書いた人
1・2年生	山のちょうじょうの木のとっぺん	最上一平
	おれ、よびだしになる	中川ひろたか
	タヌキのきょうしつ	山下明生
	ながーい5ふん みじかい5ふん	リズ・ガートン・スキャンロン オードリー・ヴァーニック
3・4年生	青いあいつがやってきた!?	松井ラフ
	ねこと王さま	ニック・シャラット
	ポリぶくろ、1まい、すてた	ミランダ・ポール
	北極と南極の「へえ～」くらべてわかる地球のこと	中山由美
5・6年生	ヒロシマ 消えたかぞく	指田和
	るな ^{さんご} 月と珊瑚	上條さなえ
	飛ぶための百歩	ジュゼッペ・フェスタ
	風を切って走りたい! 夢をかなえるバリアフリー自転車	高橋うらら



おすすめの本 その1 木村健太先生 (3-3)

「ゾウの森とポテトチップス」

ゾウとポテトチップス?なんでこのようなタイトルなの?と思った人はぜひ読んでみてください。日本から遠くはなれたボルネオ島という島にはゾウの森があり、そこにはたくさんの生き物たちが生息しています。この島が、実は私たちの食べているポテトチップスととても深いつながりをもっているのです。この本にはその理由だけでなく、いろいろな動物たちの写真がたくさんあります。ながめるだけでもおもしろい、そんな内容になっています。この本を読んだあと、きっとポテトチップスを見るとぞうをはじめボルネオ島の動物たちが、目にうかぶと思います。そして1枚1枚大切に食べようと思うようになるでしょう。

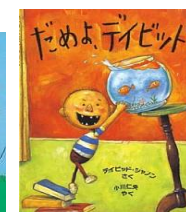
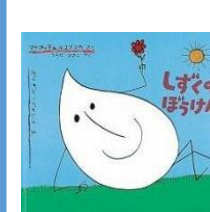
作 横塚 真巳人 推薦者 木村先生

図書室から...

6月から本のかしだしがはじまりました。子どもたちも、距離を保ちながら、本を借りにきています。本が借りられるようになって、うれしいと話してくれる人が、たくさんいました。返却された本は、図書館ボランティアの方々が一生懸命に消毒して、本だなに返してくださっています。とても助かっています。そして支えてくださる方々に、心から感謝しています。

親子読書カードを書こう!!

親子読書カードをつくりました。図書室にあります。夏休みの間、家族で読書や読み聞かせをたのしんでください。そして、その時の様子や本の感想など書いてください。書いてくれた人には、しおりをプレゼントします。親子読書カードは、2学期に図書室の廊下に掲示させていただきます。



親子読書におすすめの本

☆ しずくのぼうけん

ふだん当たり前に使っている水の循環を、かわいい絵でわかりやすくおしえてくれます。自然と科学に興味を持つきっかけになるかも。

☆ だめよ、デイビット!

デイビットは、いたずら好き。次々と飛び出すいたずらには、おなかを抱えてわらってしまいます。ラストは、叱ってばかりのママが「よし、よし、大好きよ」と抱きしめます。

☆ ええところ

背が低くて走るのも遅い、あいちゃんは、自分に自信がありません。でも友だちのともちゃんが、あいちゃんのよいところをさがしてくれます。